

【定期予防接種一覧】

R7.5月時点

種 類	対象者	標準的な接種時期	接種回数	接種の進め方等		留意点等
ロタウイルス ワクチン接種	生後6週 ～32 週未満	初回：生後2か月 ～生後14 週6日まで	ワクチンの種類により、接種回数が異なる 1価ワクチン（ロタリックス）：2回接種 27 日以上の間隔をおいて、生後 24 週までに2回経口接種 5価ワクチン（ロタテック）：3回接種 27 日以上の間隔をおいて、生後 32 週までに3 回経口接種		接種後、腸重積症を思わせる症状（周期的な不機嫌、腹痛、反復性の嘔吐や啼泣（声をあげて泣く）、血便排泄、腹部膨満感、高熱）があらわれた場合には速やかに医師の診察を受けましょう。	
ヒブワクチン接種	生後2か月 ～60か月未満	接種開始月齢により異なる（1～4 回）	生後7か月までに初回接種を開始した場合：4回接種 初回：27～56日までの間隔で3回接種 追加：初回接種後、7～13ヵ月の間隔をおいて1回接種 生後7～12 か月までに初回接種を開始した場合：3回接種 初回：27～56日までの間隔で2 回接種 追加：初回接種後、7～13ヵ月の間隔をおいて1回接種 ・1歳過ぎてから初回接種を開始した場合：1 回のみ接種		五種混合ワクチンを接種する場合 ヒブワクチン単独の接種は必要ありません。 髄膜炎は5歳未満の子供たち多くみられる病気ですが特に0～2歳代に多くみられます。 予防接種で防ぐことができる病気ですので2 か月を過ぎたら早めに接種を始めましょう。	
小児肺炎球菌 予防接種			生後7か月までに初回接種を開始した場合：4回接種 初回：27日以上の間隔で3回接種 追加：初回接種後、60日以上間隔をおいて1回接種 ※1歳過ぎてから接種 生後7～12 か月までに初回接種を開始した場合：3回接種 初回：27日以上の間隔で2 回接種 追加：初回接種後、60日以上間隔をおいて1回接種 ※1歳過ぎてから接種 ・1～2歳までに初回接種を開始した場合：60日以上の間隔をおいて2回接種 ・2歳過ぎてから初回接種を開始した場合：1 回のみ接種		令和6年度から新たに使用できるワクチンが増えました。どのワクチンを使用するかは主治医と十分にご相談ください。	
B 型肝炎 予防接種	12 ヶ月未満	生後2 か月～9 か月未満	3回	初 回：生後2 か月に接種 2 回目：初回接種から27 日以上の間隔をおいて接種 3 回目：1 回目終了後から139 日以上の間隔をおいて接種		1 歳になってしまうと定期接種の対象外
四種混合 予防接種	生後2か月 ～90 か月未満	初回：生後2か月～12 か月未満 追加：初回終了後、12 か月～18 か月の間隔をおく	初回：3 回 追加：1 回	初回：20 日以上までの間隔をおいて3 回接種 追加：初回終了後、12～18ヵ月の間で1 回接種	※四種混合ワクチン ジフテリア・破傷風・百日せき・不活化ポリオ の4種類のワクチン	四種混合ワクチン（＋ヒブワクチン）と五種混合ワクチンはどちらか一方のみの接種となります。どちらのワクチンを使用するかは主治医と十分にご相談ください。
五種混合 予防接種 ※R6 年度より開始	生後2か月 ～90 か月未満	初回：生後2～7 か月未満 追加：初回終了後、6 か月～18 か月の間隔をおく	初回：3 回 追加：1 回	初回：20 日以上までの間隔をおいて3 回接種 追加：初回終了後、6～18ヵ月の間で1 回接種	※五種混合ワクチン 四種混合ワクチンにヒブワクチンを追加したもの	
BCG	～12 か月未満	生後5か月～8か月未満	1 回 （ハンコ注射）			接種後10日以内に化膿が見られた場合 医療機関にご相談ください。
麻しん風しん 予防接種	Ⅰ期：1～2歳未満 Ⅱ期：保育所の年長児の年齢		各期：1 回			風しんは妊婦がかかると、赤ちゃんの目・耳などに障害が現れる危険があります。 大人で風しんの抗体価が低い方は接種を受けましょう。
水痘（水ぼうそう） 予防接種	1～3歳未満	1回目：生後12か月～15か月 2回目：1回目から3ヵ月以上の間隔をおく	2 回	1 回目：生後12～15か月 2 回目：1 回目接種後、6～12ヵ月の間隔をおいて接種		過去に水ぼうそうにかかったことがある人は接種の必要はありません。
日本脳炎 予防接種	1期 生後6か月 ～90 か月未満	1 期初回：3～4 歳未満 1 期追加：4～5 歳未満	1 期初回：2 回 1 期追加：1 回	初回：6～28 日までの間隔をおいて2 回接種 追加：初回終了後、おおむね1 年の間隔をおいて接種		
	2期 9～13 歳未満	9～10歳未満	1 回	1 期追加からおおむね5年の間隔をおいて接種		1 期が途中の方は1 期を終了してからの接種になります。その際の接種間隔等は主治医と十分にご相談ください。
二種混合 予防接種	11～13 歳未満	小学6 年生	1 回			
子宮頸がん 予防接種	小学6年生～ 高校1 年生	中学1 年生	2～3回	ワクチンの種類により、接種間隔又は接種回数が異なる 2価ワクチン：初回接種から1ヵ月の間隔をおいて2回目、初回接種から6ヵ月の間隔をおいて3回目 4価ワクチン：初回接種から2ヵ月の間隔をおいて2回目、初回接種から6ヵ月の間隔をおいて3回目 9価ワクチン：14 歳までに初回接種を受ける場合、6ヵ月以上の間隔をおいて2回目（但し、2回目の接種が初回接種から5ヵ月未満の場合は、3回目の接種が必要）その他の方は、4価と同様		どのワクチンを使用するか、接種間隔等についてなど主治医と十分にご相談ください。